

2024年度 学校関係者評価報告書

マリールイズ美容専門学校 学校関係者評価委員会

2025年3月12日（水）11時から12時

評価委員

元都立高等学校校長 江原 規美子

ヘアサロンオーナー 鈴木 満

建築関係会社社長 須田 正昭

学校関係者

学校長 相原周太

教務部 山本知明

事務局 立藤玲奈

◆教育理念

・大学全入時代においてマリールイズ美容専門学校は定員数40名に対して来年度が34名の入学になることについての現状を説明。

本年度も昨年同様にマリールイズ美容専門学校で行われる説明会や体験入学そして授業見学会において入学希望を検討している参加者にマリールイズ美容専門学校においてのカリキュラムや就職についてまたは、学校の特色である少人数での教育方針や取り組みの説明を行ってきた。参加者の中には、大学と専門学校の違いについての質問が多くなってきていることについても説明した。

委員からは、技術を習得することで将来の生活が安定することを織り交ぜて説明をしたほうが良いとの意見をもらった。今後はさらなる美容師の将来性を参加者に伝えしっかりと美容関係で働くことができる人材育成を理念とし美容師資格合格に向けたカリキュラム作りと実践を行います。

・2年生の就職については、コロナの影響が無くなったことにより1年生の時のインターンシップをより充実したものにできた。学生はインターンシップでの経験によりスムーズに就職活動を進められ各自が目的をもって活動できたことが良かったと思う。

やはり美容のプロとの同じ時間を過ごすことは大切だと思う。来年度も実施してほしい。

・退学する学生はいるが、一人ひとりの心のケアを教職員で行っていることは退学の減少につながるので頑張ってください。とのことでした。

◆学校運営

・本年度も毎回のようには教職員会議・教務会議・技術交流会にて学校運営および指導方法および研究そして実践について行われているので続けて行ってほしい。学生の満足度と国家試験合格率にも停滞することなく行ってください。

・来年度は、40名ではなく34名ということで募集の大変さは理解できる。しかしながら美容を希望する進学者はいることは確かなのでマリールイズ美容専門学校で良い教育をしていることをアピールする方法を考えて業務を遂行してください。

退学しない学校づくりは昨年同様、学生が頑張れる運営と努力と就職したときに先輩に信頼される人間形成を授業を通して人間力を持った学生を輩出してください。

◆教育活動・教育成果

・コロナ明けて数年が経過した現在、在学生にはたくさんのコンテストなどにエントリーをしていただき美容がやりがいがあり楽しいものだと言指導をしてほしい。できると思います。

少人数だからこそ挑戦できる美容専門学校なのでよろしくお願いします。とのこと。

◆学生支援

・美容サロンだけではないが、人手不足である。ミスマッチがないように学校で一年生から就職フェアに参加していることはいいと思う。教職員が担当だけでなく店舗や業界の将来性を理解して長く勤務できる人材育成を行ってほしい。少人数の特性を生かして丁寧な指導心掛けてください。

◆教育環境

・コロナはいったん落ち着いているがこれからも感染対策は継続でお願いします。

財政的なこともあるが、学生が技術や就職情報の不足を経験しないようにネットワークの整備も引き続き力を入れて学生が勉強ができるように環境を整えるように行動してください。

◆財務

・無駄を省き運営を心掛けてほしい。

◆法令等の遵守

・しっかりと社会の変化にアンテナを張り対応してください。

◆社会貢献、地域貢献

・美容師は、技術職です。学校を通して若い人材の育成とお客様に対応できるコミュニケーション能力のある社会人の輩出をお願いします。そして運営をお願いします。

◆国際交流

国際交流を手掛けることはかなりパワーがいることだと思うが、大変かもしれないがマリールイズ美容専門学校として国際交流のことも継続して考えてほしい。